

2024年7月 戸田市景気動向に関するアンケート調査結果

1 目的

市内の景況に関し、現状や見通しなどの調査を行うことで、業種別の市内景気の動向を迅速に把握するほか、取り組むべき経営課題について実態を把握し、今後どのような支援策が必要かどうか、経済施策立案のための基礎資料とすることを目的とする。

2 調査期間

2024年7月12日(金)～7月31日(水)

3 調査対象

市内事業者700社

4 調査方法

WEB調査
(対象者にアンケート回答用のQRコードが記載された文書を郵送し、WEBで回答)

5 回答状況

有効回答数	188 社
回答率	26.9 %

市内中小企業の景況感

市内中小企業の景況感は、前期に比べ減退傾向が見られ、見通しについても厳しい状況である。原材料・仕入価格の上昇が続いており、利益を創出しづらい状況がうかがえる。

特別調査

- ・現状の経営課題について
- ・2024年問題、2025年問題による貴社への影響と雇用状況について
- ・事業承継について

DI(景気動向指数: Diffusion Index)とは

増加(好転)と回答した企業割合から減少(悪化)と回答した企業割合を差し引いた指数で、企業の景況判断等の強弱感の判断に使用する指数のことである。

<例>「増加」50% 「変わらず」20% 「減少」30%

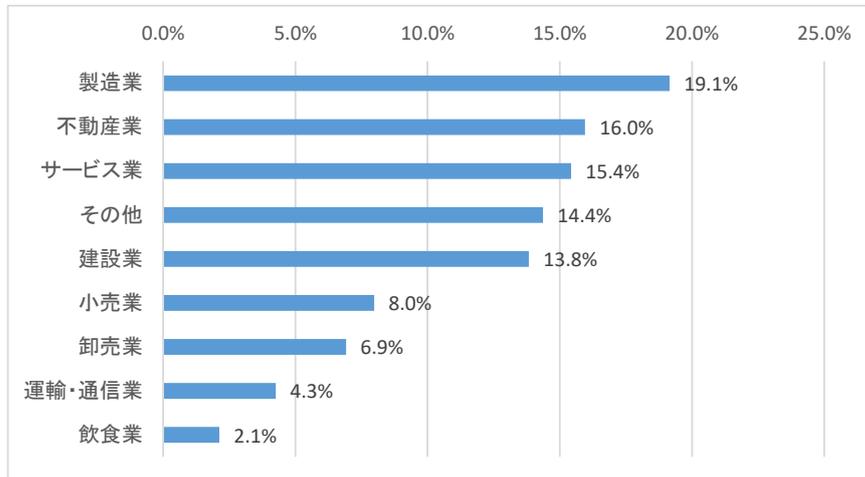
$$DI = 50\% - 30\% = 20$$

※本調査における構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

調査の基本項目

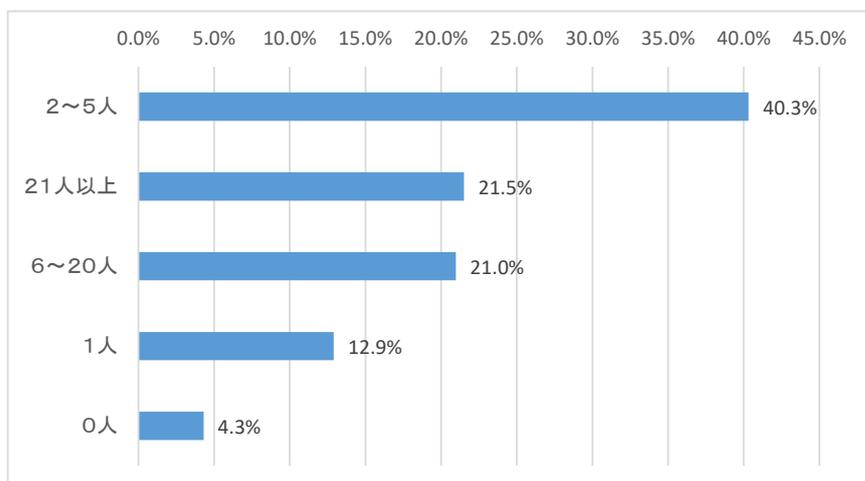
1 事業所の業種

前回に比べ、回答率が下がっており、業種分類は、「製造業」が19.1%、「不動産業」が16.0%、「サービス業」が15.4%となっている。以下、「その他」、「建設業」、「小売業」、「卸売業」、「運輸・通信業」、「飲食業」の順となっている。



2 従業員数

従業員数の分布は、「2～5人」が40.3%と最も多く、「21人以上」が21.5%、「6～20人」が21.0%となっている。以下「1人」、「0人」の順となっている。本調査では小規模事業所の回答が中心となっている。



1 戸市内の景況や貴事業所の動向について

Q1 景況や貴事業所の動向の「実績見込み」と「見通し」について

戸市内の景況や貴事業所の動向に関する以下の10項目について、それぞれ該当するものを選択

- ・実績見込み: 令和6年度上期は、令和5年度下期と比べていかがか。
 - ・見通し: 令和6年度下期は、現在の実績と比べてどうなると思うか。
- なお、業種によっては回答する必要のない項目があるため、その場合は未記入

※10項目

- (1)景況感 (2)生産高・売上高 (3)経常利益 (4)雇用人員
 (5)労働時間 (6)製品(商品)価格 (7)原材料・仕入価格
 (8)製品(商品)在庫 (9)資金繰り (10)設備投資

※上記の質問について、DIを算出し、グラフを作成

【全体の概要】

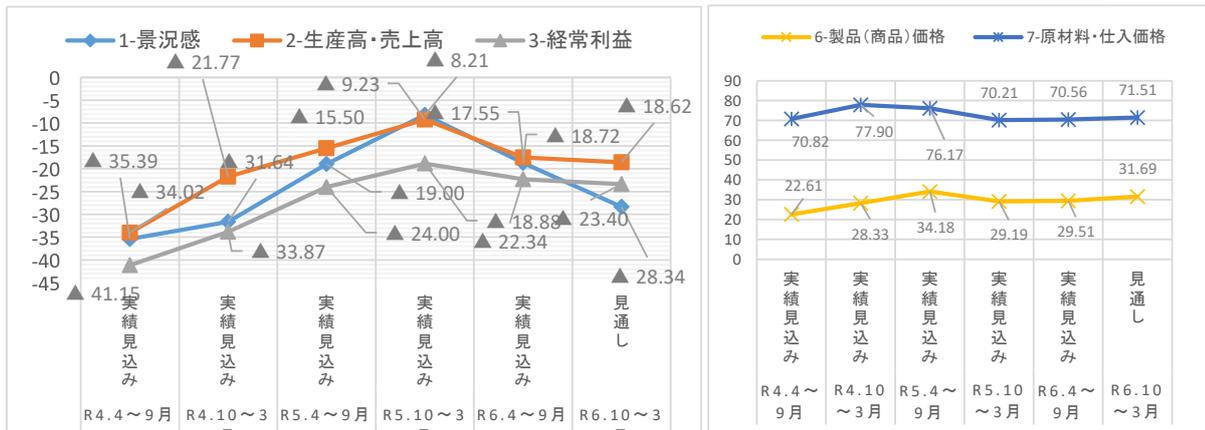
「景況感DI」は-18.72であり、前期から10.51ポイント減少し、悪化傾向であり、見通しについても9.63ポイント減少の-28.34と悪化傾向である。

「生産高・売上高DI」は-17.55であり、前期から8.32ポイント減少し、下降傾向であり、見通しについても1.06ポイント減少の-18.62と下降傾向である。

「経常利益DI」は-22.34であり、前期から3.46ポイント減少し、下降傾向であり、見通しについても1.06ポイント減少の-23.40と下降傾向である。

「製品(商品)価格DI」は29.51であり、前期から0.32ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても2.19ポイント増加の31.69と上昇傾向である。

「原材料・仕入価格DI」は70.56であり、前期から0.34ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても0.95ポイント増加の71.51と上昇傾向である。

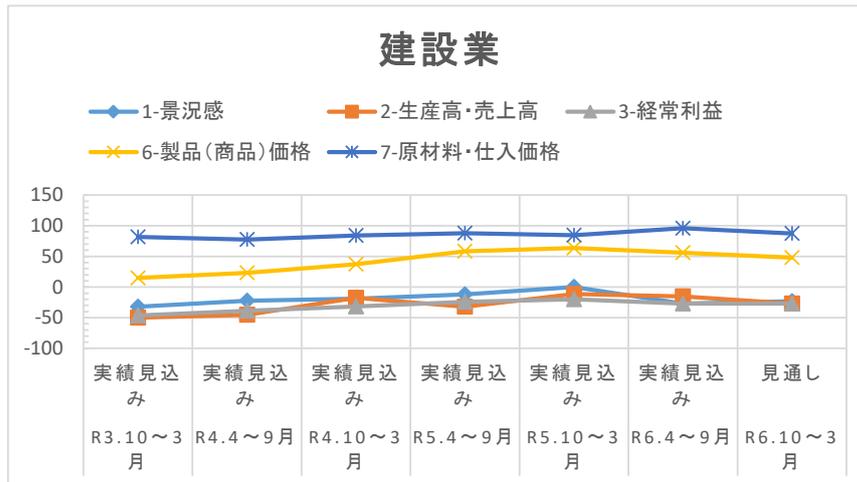


質問項目 (DI)	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月	R5.10~3月	R6.4~9月	R6.10~3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	▲ 33.78	▲ 35.39	▲ 31.64	▲ 19.00	▲ 8.21	▲ 18.72	▲ 28.34
2-生産高・売上高	▲ 33.03	▲ 34.02	▲ 21.77	▲ 15.50	▲ 9.23	▲ 17.55	▲ 18.62
3-経常利益	▲ 39.09	▲ 41.15	▲ 33.87	▲ 24.00	▲ 18.88	▲ 22.34	▲ 23.40
4-雇用人員	▲ 25.45	▲ 19.50	▲ 28.69	▲ 30.30	▲ 32.65	▲ 27.27	▲ 31.18
5-労働時間	▲ 10.91	▲ 11.11	▲ 5.09	▲ 7.04	▲ 4.08	▲ 7.49	▲ 6.45
6-製品(商品)価格	7.04	22.61	28.33	34.18	29.19	29.51	31.69
7-原材料・仕入価格	59.33	70.82	77.90	76.17	70.21	70.56	71.51
8-製品(商品)在庫	▲ 3.43	▲ 7.14	▲ 2.05	1.59	▲ 10.75	▲ 6.15	▲ 10.11
9-資金繰り	▲ 21.72	▲ 25.51	▲ 24.59	▲ 11.56	▲ 7.14	▲ 16.49	▲ 18.18
10-設備投資	▲ 0.47	▲ 7.98	▲ 6.52	0.51	4.12	2.69	▲ 1.08

業種別の動向について

〔建設業の概要〕

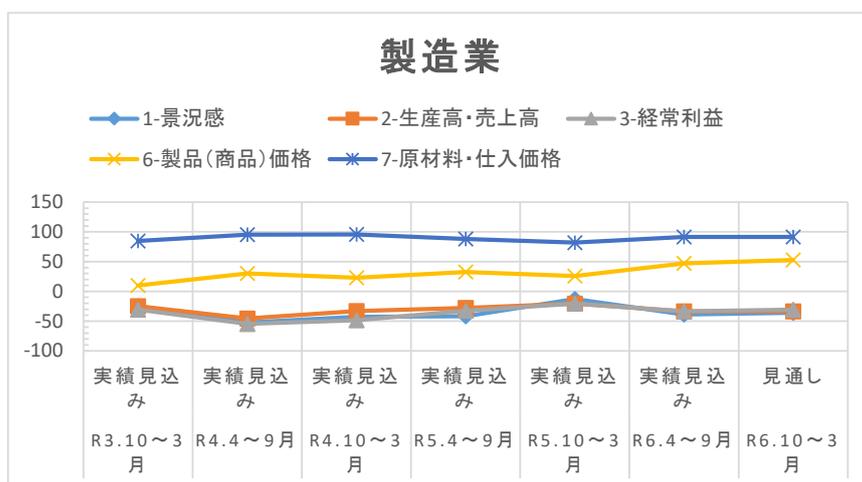
「景況感DI」は-26.92であり、前期から26.92ポイント減少し、悪化傾向であるが、見通しについては3.85ポイント増加の-23.08と改善傾向である。
 「生産高・売上高DI」は-15.38であり、前期から3.96ポイント減少し、下降傾向であり、見通しについても11.54ポイント減少の-26.92と下降傾向である。
 「経常利益DI」は-26.92であり、前期から6.92ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。
 「製品(商品)価格DI」は56.00であり、前期から7.64ポイント減少し、下降傾向であり、見通しについても8.00ポイント減少の48.00と下降傾向である。
 「原材料・仕入価格DI」は96.00であり、前期から11.63ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては8.50ポイント減少の87.50と下降傾向である。



質問項目 (DI)	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月	R5.10~3月	R6.4~9月	R6.10~3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	▲ 32.14	▲ 22.58	▲ 19.30	▲ 12.00	0.00	▲ 26.92	▲ 23.08
2-生産高・売上高	▲ 50.00	▲ 45.16	▲ 17.54	▲ 32.00	▲ 11.43	▲ 15.38	▲ 26.92
3-経常利益	▲ 46.43	▲ 38.71	▲ 31.58	▲ 24.00	▲ 20.00	▲ 26.92	▲ 26.92
4-雇用人員	▲ 46.43	▲ 33.33	▲ 50.88	▲ 64.00	▲ 54.29	▲ 53.85	▲ 50.00
5-労働時間	▲ 17.86	▲ 9.68	1.75	▲ 4.00	11.43	▲ 15.38	▲ 19.23
6-製品(商品)価格	14.81	23.33	37.04	58.33	63.64	56.00	48.00
7-原材料・仕入価格	81.48	77.42	83.93	88.00	84.38	96.00	87.50
8-製品(商品)在庫	0.00	▲ 17.86	▲ 7.84	▲ 8.70	▲ 9.68	▲ 16.00	▲ 16.00
9-資金繰り	▲ 21.43	▲ 12.90	▲ 26.32	▲ 12.00	▲ 5.71	▲ 19.23	▲ 34.62
10-設備投資	▲ 14.29	▲ 12.90	▲ 12.50	▲ 12.00	▲ 5.71	▲ 7.69	▲ 15.38

【製造業の概要】

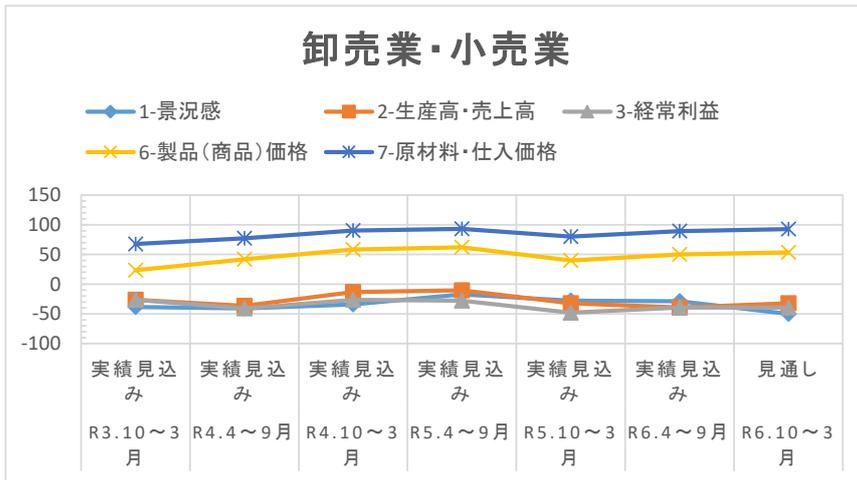
「景況感DI」は-38.89であり、前期から26.07ポイント減少し、悪化傾向であるが、見通しについては2.78ポイント増加の-36.11と改善傾向である。
 「生産高・売上高DI」は-33.33であり、前期から12.82ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。
 「経常利益DI」は-33.33であり、前期から12.82ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては2.77ポイント増加の-30.56と上昇傾向である。
 「製品(商品)価格DI」は47.22であり、前期から21.58ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても5.56ポイント増加の52.78と上昇傾向である。
 「原材料・仕入価格DI」は91.43であり、前期から9.38ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。



質問項目 (DI)	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月	R5.10~3月	R6.4~9月	R6.10~3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	▲ 25.00	▲ 52.27	▲ 42.86	▲ 41.86	▲ 12.82	▲ 38.89	▲ 36.11
2-生産高・売上高	▲ 25.00	▲ 45.45	▲ 32.86	▲ 27.91	▲ 20.51	▲ 33.33	▲ 33.33
3-経常利益	▲ 30.77	▲ 54.55	▲ 48.57	▲ 32.56	▲ 20.51	▲ 33.33	▲ 30.56
4-雇用人員	▲ 30.00	▲ 20.45	▲ 25.71	▲ 20.93	▲ 43.59	▲ 27.78	▲ 41.67
5-労働時間	▲ 15.00	▲ 25.00	▲ 17.14	▲ 28.57	▲ 12.82	▲ 8.33	▲ 5.56
6-製品(商品)価格	10.00	30.23	22.86	32.56	25.64	47.22	52.78
7-原材料・仕入価格	84.62	95.45	95.71	88.10	82.05	91.43	91.43
8-製品(商品)在庫	▲ 10.53	▲ 18.60	▲ 7.25	▲ 4.76	▲ 23.68	▲ 14.29	▲ 17.14
9-資金繰り	▲ 22.50	▲ 34.09	▲ 33.82	▲ 11.63	▲ 5.13	▲ 13.89	▲ 19.44
10-設備投資	▲ 5.00	▲ 11.36	▲ 2.86	▲ 11.63	▲ 7.69	▲ 11.11	▲ 11.11

【卸売業・小売業の概要】

「景況感DI」は-28.57であり、前期から0.57ポイント減少し、悪化傾向であり、見通しについても21.43ポイント減少の-50.00と悪化傾向である。
 「生産高・売上高DI」は-39.29であり、前期から7.29ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては7.15ポイント増加の-32.14と上昇傾向である。
 「経常利益DI」は-39.29であり、前期から8.71ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。
 「製品(商品)価格DI」は50.00であり、前期から10.00ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても3.57ポイント増加の53.57と上昇傾向である。
 「原材料・仕入価格DI」は89.29であり、前期から9.29ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても3.57ポイント増加の92.86と上昇傾向である。



質問項目(DI)	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月	R5.10~3月	R6.4~9月	R6.10~3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	▲ 38.24	▲ 40.91	▲ 33.96	▲ 17.24	▲ 28.00	▲ 28.57	▲ 50.00
2-生産高・売上高	▲ 26.47	▲ 36.36	▲ 13.21	▲ 10.34	▲ 32.00	▲ 39.29	▲ 32.14
3-経常利益	▲ 26.47	▲ 40.91	▲ 26.42	▲ 27.59	▲ 48.00	▲ 39.29	▲ 39.29
4-雇用人員	▲ 14.71	▲ 20.45	▲ 15.09	▲ 20.69	▲ 28.00	▲ 10.71	▲ 22.22
5-労働時間	▲ 5.88	▲ 4.55	▲ 7.55	0.00	▲ 20.00	▲ 3.57	0.00
6-製品(商品)価格	23.53	41.86	58.49	62.07	40.00	50.00	53.57
7-原材料・仕入価格	67.65	77.27	90.38	93.10	80.00	89.29	92.86
8-製品(商品)在庫	17.65	2.27	5.66	17.24	▲ 8.00	3.57	▲ 14.29
9-資金繰り	▲ 20.59	▲ 27.27	▲ 24.53	▲ 24.14	▲ 8.00	▲ 10.71	▲ 10.71
10-設備投資	8.82	2.27	0.00	13.79	▲ 4.00	3.57	▲ 3.57

〔飲食業の概要〕

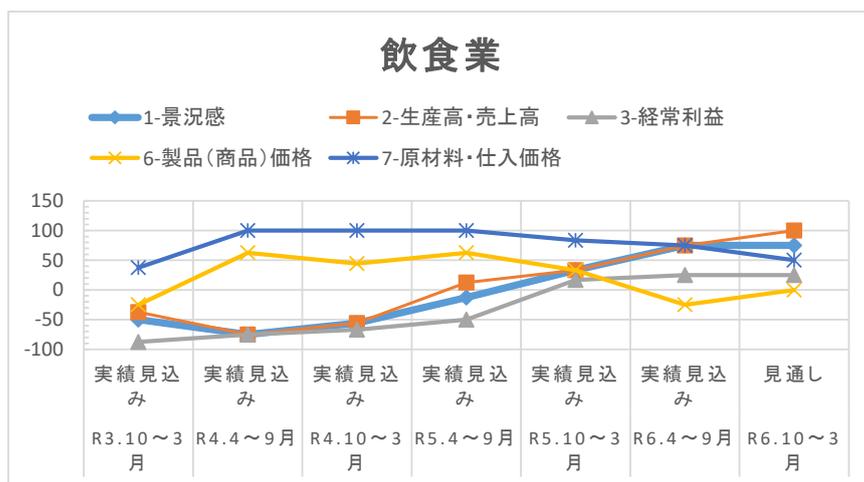
「景況感DI」は75.00であり、前期から41.67ポイント増加し、改善傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。

「生産高・売上高DI」は75.00であり、前期から41.67ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても25.00ポイント増加の100.00と上昇傾向である。

「経常利益DI」は25.00であり、前期から8.33ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。

「製品(商品)価格DI」は-25.00であり、前期から58.33ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては25.00ポイント増加の0.00と上昇傾向である。

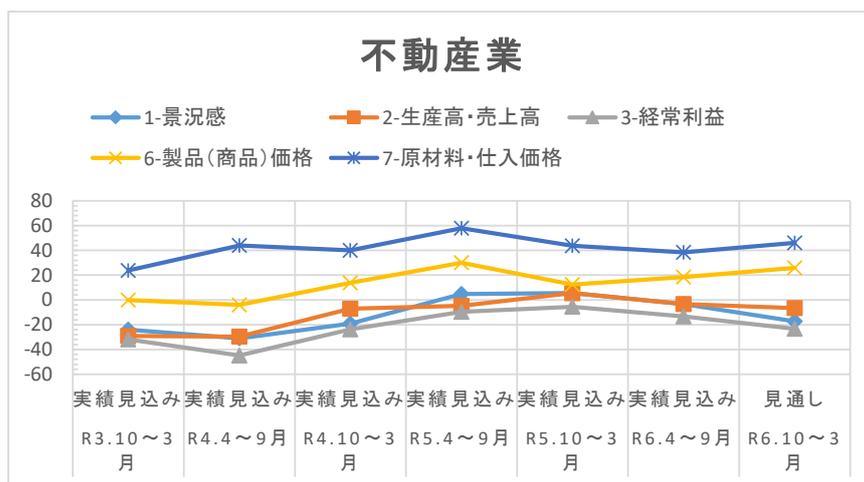
「原材料・仕入価格DI」は75.00であり、前期から8.33ポイント減少し、改善傾向であり、見通しについても25.00ポイント減少の50.00と改善傾向である。



質問項目(DI)	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月	R5.10~3月	R6.4~9月	R6.10~3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	▲ 50.00	▲ 75.00	▲ 55.56	▲ 12.50	33.33	75.00	75.00
2-生産高・売上高	▲ 37.50	▲ 75.00	▲ 55.56	12.50	33.33	75.00	100.00
3-経常利益	▲ 87.50	▲ 75.00	▲ 66.67	▲ 50.00	16.67	25.00	25.00
4-雇用人員	▲ 25.00	▲ 50.00	▲ 66.67	▲ 50.00	▲ 16.67	▲ 50.00	▲ 50.00
5-労働時間	▲ 25.00	▲ 62.50	▲ 44.44	0.00	0.00	25.00	25.00
6-製品(商品)価格	▲ 25.00	62.50	44.44	62.50	33.33	▲ 25.00	0.00
7-原材料・仕入価格	37.50	100.00	100.00	100.00	83.33	75.00	50.00
8-製品(商品)在庫	▲ 25.00	▲ 12.50	▲ 11.11	▲ 12.50	▲ 16.67	0.00	0.00
9-資金繰り	0.00	▲ 37.50	▲ 33.33	▲ 12.50	33.33	▲ 25.00	0.00
10-設備投資	12.50	0.00	▲ 33.33	▲ 12.50	16.67	75.00	75.00

【不動産業の概要】

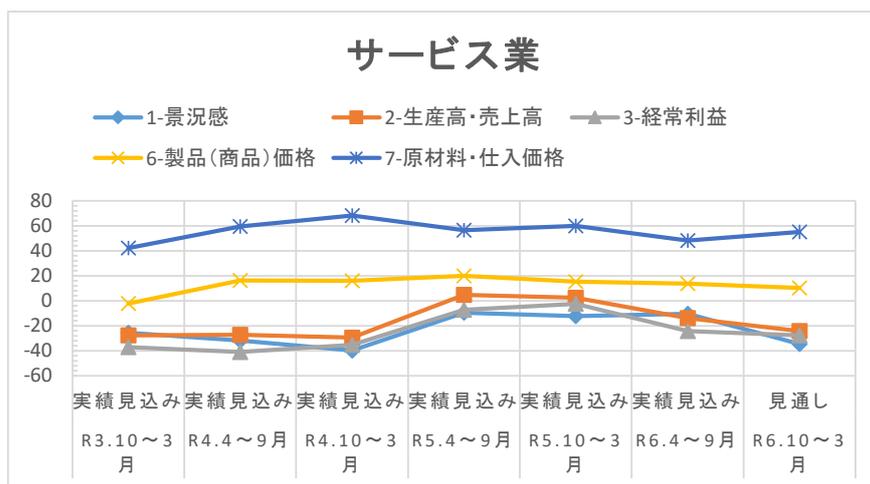
「景況感DI」は-3.45であり、前期から9.01ポイント減少し、悪化傾向であり、見通しについても13.79ポイント減少の-17.24と悪化傾向である。
 「生産高・売上高DI」は-3.33であり、前期から8.89ポイント減少し、下降傾向であり、見通しについても3.34ポイント減少の-6.67と下降傾向である。
 「経常利益DI」は-13.33であり、前期から7.77ポイント減少し、下降傾向であり、見通しについても10.00ポイント減少の-23.33と下降傾向である。
 「製品(商品)価格DI」は18.52であり、前期から6.02ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても7.41ポイント増加の25.93と上昇傾向である。
 「原材料・仕入価格DI」は38.46であり、前期から5.29ポイント減少し、改善傾向であるが、見通しについては7.69ポイント増加の46.15と上昇傾向である。



質問項目(DI)	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月	R5.10~3月	R6.4~9月	R6.10~3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	▲ 24.00	▲ 31.03	▲ 19.05	4.76	5.56	▲ 3.45	▲ 17.24
2-生産高・売上高	▲ 29.17	▲ 29.63	▲ 7.14	▲ 4.76	5.56	▲ 3.33	▲ 6.67
3-経常利益	▲ 32.00	▲ 44.83	▲ 23.81	▲ 9.52	▲ 5.56	▲ 13.33	▲ 23.33
4-雇用人員	0.00	3.57	▲ 7.14	▲ 10.00	▲ 16.67	▲ 3.45	0.00
5-労働時間	8.33	0.00	4.76	9.52	5.56	6.90	10.34
6-製品(商品)価格	0.00	▲ 4.00	13.89	30.00	12.50	18.52	25.93
7-原材料・仕入価格	23.81	44.00	40.00	57.89	43.75	38.46	46.15
8-製品(商品)在庫	▲ 9.52	8.00	▲ 2.94	10.53	0.00	4.00	0.00
9-資金繰り	▲ 24.00	▲ 24.14	▲ 9.52	▲ 4.76	0.00	0.00	▲ 10.34
10-設備投資	▲ 17.39	▲ 14.81	▲ 17.50	0.00	17.65	16.67	20.00

【サービス業の概要】

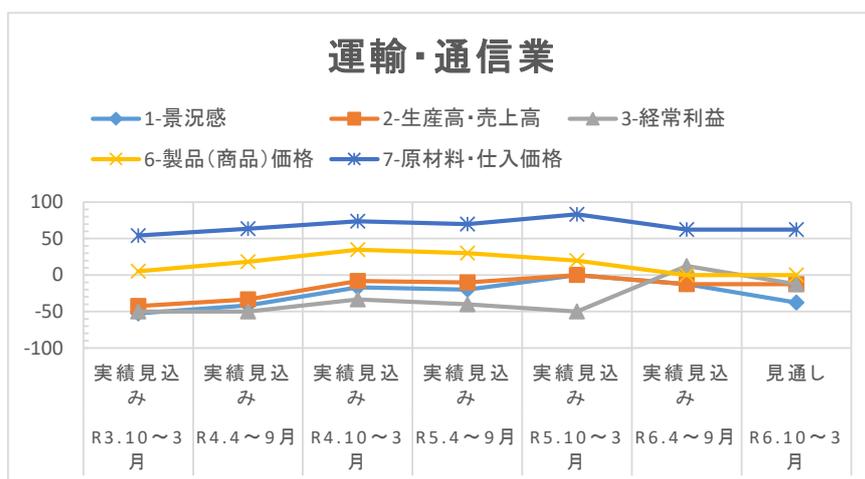
「景況感DI」は-10.34であり、前期から1.86ポイント増加し、改善傾向であるが、見通しについては24.14ポイント減少の-34.48と悪化傾向である。
 「生産高・売上高DI」は-13.79であり、前期から16.23ポイント減少し、下降傾向であり、見通しについても10.35ポイント減少の-24.14と下降傾向である。
 「経常利益DI」は-24.14であり、前期から21.70ポイント減少し、下降傾向であり、見通しについても3.45ポイント減少の-27.59と下降傾向である。
 「製品(商品)価格DI」は13.79であり、前期から1.59ポイント減少し、下降傾向であり、見通しについても3.45ポイント減少の10.34と下降傾向である。
 「原材料・仕入価格DI」は48.28であり、前期から11.72ポイント減少し、改善傾向であるが、見通しについては6.89ポイント増加の55.17と上昇傾向である。



質問項目(DI)	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月	R5.10~3月	R6.4~9月	R6.10~3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	▲ 25.53	▲ 31.82	▲ 39.71	▲ 9.52	▲ 12.20	▲ 10.34	▲ 34.48
2-生産高・売上高	▲ 27.66	▲ 27.27	▲ 29.41	4.76	2.44	▲ 13.79	▲ 24.14
3-経常利益	▲ 36.96	▲ 40.91	▲ 35.29	▲ 7.14	▲ 2.44	▲ 24.14	▲ 27.59
4-雇用人員	▲ 26.09	▲ 18.18	▲ 20.59	▲ 31.71	▲ 14.63	▲ 20.69	▲ 27.59
5-労働時間	▲ 8.51	▲ 9.09	▲ 1.47	2.38	▲ 9.76	▲ 20.69	▲ 20.69
6-製品(商品)価格	▲ 2.17	16.28	16.13	20.00	15.38	13.79	10.34
7-原材料・仕入価格	42.22	59.52	68.25	56.41	60.00	48.28	55.17
8-製品(商品)在庫	▲ 7.14	▲ 2.50	▲ 1.59	0.00	▲ 7.50	▲ 10.34	▲ 10.34
9-資金繰り	▲ 21.28	▲ 29.55	▲ 22.06	▲ 7.14	▲ 17.07	▲ 31.03	▲ 24.14
10-設備投資	0.00	▲ 11.90	▲ 8.96	9.76	19.51	0.00	▲ 10.34

【運輸・通信業の概要】

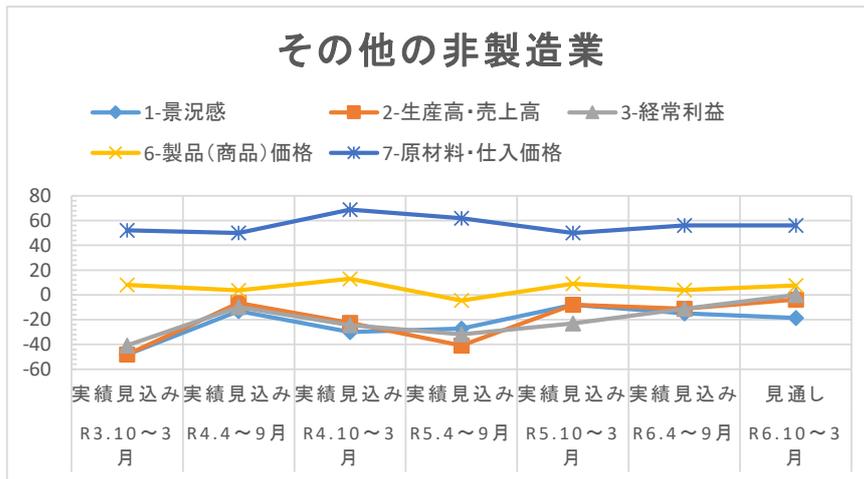
「景況感DI」は-12.50であり、前期から12.50ポイント減少し、悪化傾向であり、見通しについても25.00ポイント減少の-37.50と悪化傾向である。
 「生産高・売上高DI」は-12.50であり、前期から12.50ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。
 「経常利益DI」は12.50であり、前期から62.50ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては25.00ポイント減少の-12.50と下降傾向である。
 「製品(商品)価格DI」は0.00であり、前期から20.00ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。
 「原材料・仕入価格DI」は62.50であり、前期から20.83ポイント減少し、改善傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。



質問項目(DI)	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月	R5.10~3月	R6.4~9月	R6.10~3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	▲ 52.50	▲ 41.67	▲ 16.67	▲ 20.00	0.00	▲ 12.50	▲ 37.50
2-生産高・売上高	▲ 42.50	▲ 33.33	▲ 8.33	▲ 10.00	0.00	▲ 12.50	▲ 12.50
3-経常利益	▲ 50.00	▲ 50.00	▲ 33.33	▲ 40.00	▲ 50.00	12.50	▲ 12.50
4-雇用人員	▲ 30.77	▲ 50.00	▲ 54.17	▲ 50.00	▲ 83.33	▲ 87.50	▲ 87.50
5-労働時間	▲ 17.95	▲ 25.00	4.17	▲ 30.00	0.00	▲ 25.00	▲ 25.00
6-製品(商品)価格	5.41	18.18	34.78	30.00	20.00	0.00	0.00
7-原材料・仕入価格	54.29	63.64	73.91	70.00	83.33	62.50	62.50
8-製品(商品)在庫	▲ 5.88	▲ 27.27	0.00	0.00	▲ 16.67	0.00	0.00
9-資金繰り	▲ 25.64	▲ 41.67	▲ 16.67	0.00	0.00	▲ 12.50	▲ 12.50
10-設備投資	13.51	▲ 8.33	8.33	0.00	16.67	12.50	0.00

【その他の非製造業の概要】

「景況感DI」は-14.81であり、前期から6.81ポイント減少し、悪化傾向であり、見通しについても3.71ポイント減少の-18.52と悪化傾向である。
 「生産高・売上高DI」は-11.11であり、前期から3.11ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては7.41ポイント増加の-3.70と上昇傾向である。
 「経常利益DI」は-11.11であり、前期から11.97ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについても11.11ポイント増加の0.00と上昇傾向である。
 「製品(商品)価格DI」は3.85であり、前期から5.24ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては3.84ポイント増加の7.69と上昇傾向である。
 「原材料・仕入価格DI」は56.00であり、前期から6.00ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては横ばい傾向である。



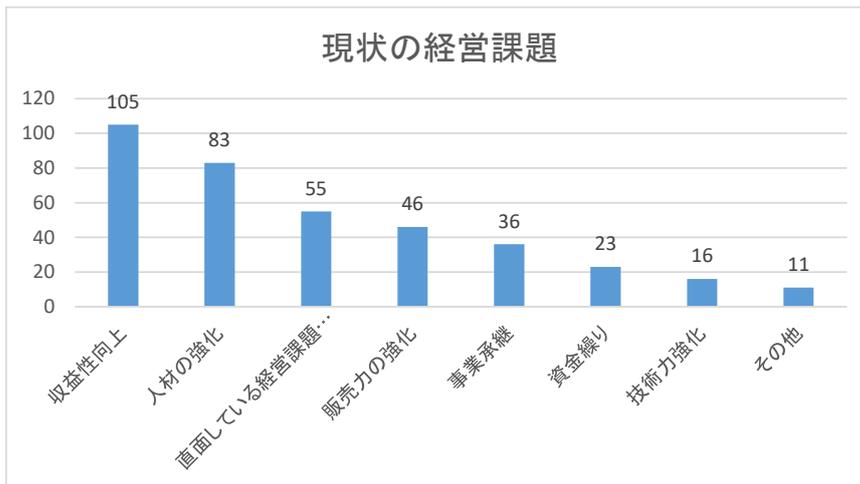
質問項目 (DI)	R3.10~3月	R4.4~9月	R4.10~3月	R5.4~9月	R5.10~3月	R6.4~9月	R6.10~3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	▲ 48.15	▲ 12.90	▲ 30.00	▲ 27.27	▲ 8.00	▲ 14.81	▲ 18.52
2-生産高・売上高	▲ 48.15	▲ 6.45	▲ 22.45	▲ 40.91	▲ 8.00	▲ 11.11	▲ 3.70
3-経常利益	▲ 40.74	▲ 9.68	▲ 24.49	▲ 31.82	▲ 23.08	▲ 11.11	0.00
4-雇用人員	▲ 15.38	▲ 6.45	▲ 32.00	▲ 22.73	▲ 23.08	▲ 29.63	▲ 25.93
5-労働時間	▲ 11.54	3.23	▲ 4.00	▲ 4.55	3.85	▲ 3.70	▲ 3.70
6-製品(商品)価格	8.00	3.70	13.04	▲ 4.55	9.09	3.85	7.69
7-原材料・仕入価格	52.17	50.00	68.89	61.90	50.00	56.00	56.00
8-製品(商品)在庫	▲ 13.04	▲ 4.00	4.88	5.00	▲ 4.17	▲ 4.00	▲ 4.17
9-資金繰り	▲ 26.92	▲ 9.68	▲ 28.57	▲ 14.29	▲ 11.54	▲ 25.93	▲ 14.81
10-設備投資	12.50	▲ 3.33	▲ 2.04	9.52	4.00	4.00	4.17

2. 貴社の現状の経営課題についてお答えください。

Q2-1 貴社の現状の経営課題(1番の優先課題)は？

Q2-2 貴社の現状の経営課題(次、2番目の優先課題)は？

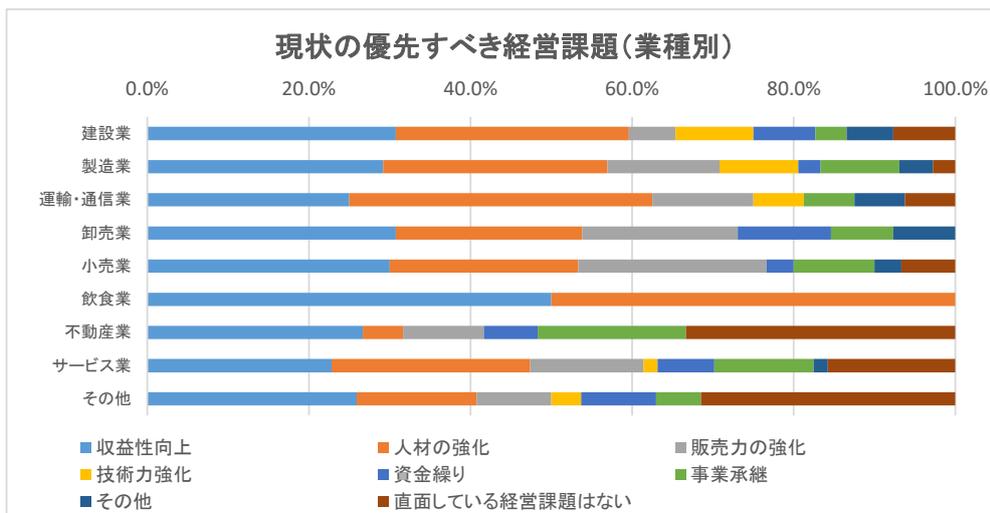
現状、優先的に取り組むべき経営課題として最も多く挙げられたのは「収益性向上」であり、次いで「人材の強化」という、前回と同様の結果であった。
 その他としては以下の意見が寄せられた。
 人材不足/特になし/ネット価格に依存されない付加価値づくり/取引先の予算や仕事量に左右される/物価高など



業種別にみる現状の優先すべき経営課題

業種別に集計してみると以下の特徴が見られた。

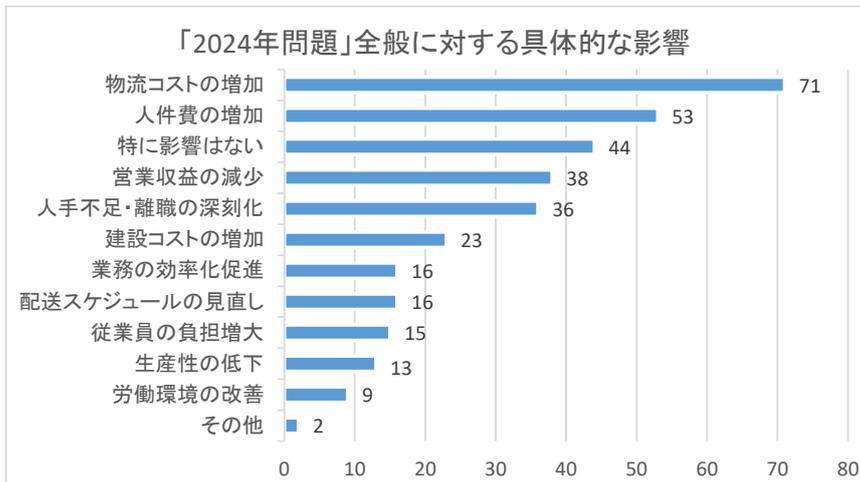
- ・事業者全体の傾向と異なっていたのは、運輸・通信業だった。「人材の強化」が最も多く、次いで「収益性向上」が多かった。
- ・建設業、製造業、飲食業、サービス業については、「収益性向上」および「人材の強化」がほぼ同率で最も多かった。
- ・卸売業、小売業については、「人材の強化」と「販売力の強化」がほぼ同率で多かった。
- ・不動産業については、「直面している経営課題はない」が最も多かった。



3. 2024年問題、2025年問題による貴社への影響と雇用状況について

Q3-1「2024年問題」全般に対する具体的な影響についてお答えください。(複数選択可)

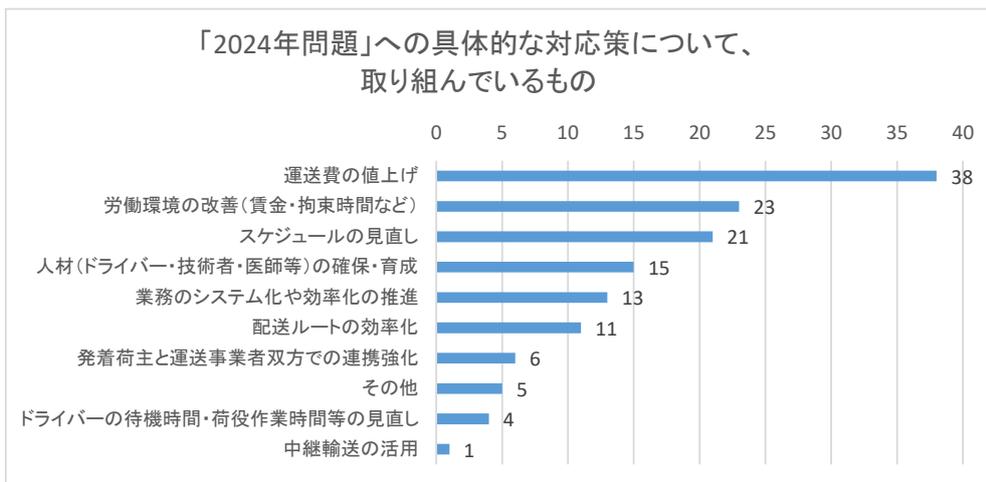
・最も多く挙げられたのは「物流コストの増加」、次いで「人件費の増加」の回答が多く、全体の約半数を占めている。
 ・「その他」としては、以下の意見が寄せられた。
 特になし/物価高など



Q3-2「2024年問題」への具体的な対応策について、取り組んでいるものをお答えください。(複数選択可)

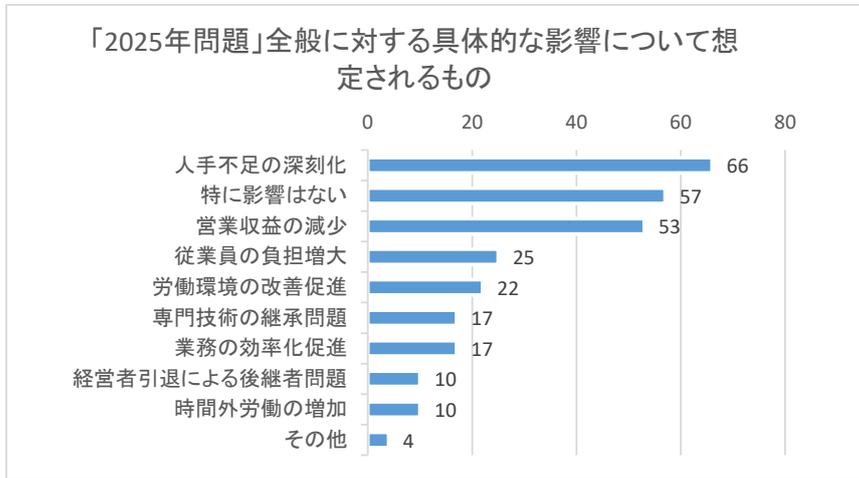
・最も多く挙げられたのは「運送費の値上げ」であった。次いで多かったのは、「労働環境の改善」、「スケジュールの見直し」であった。
 ・「その他」としては以下の意見が寄せられた。
 特になし/人件費増額による作業員の経済的負担軽減/運送会社による強制的に価格改定により運賃交渉の余地がないなど
 ・「特に何もしていない」が約39%であった。

※運送費の値上げについては、運送事業者側は交渉、荷主側は受け入れを指す。
 ※業務のシステム化や効率化の推進については、DXやデータ活用等を指す。



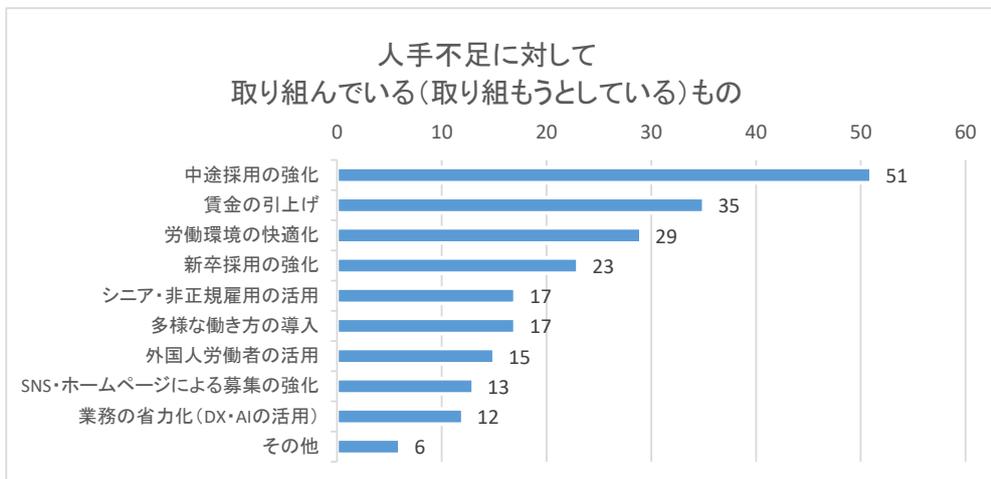
Q3-3「2025年問題」全般に対する具体的な影響について想定されるものをお答えください。(複数選択可)

・最も多く挙げられたのは、「人手不足の深刻化」で、次いで「営業収益の減少」だった。
 ・「その他」としては、以下の意見が寄せられた。
 高齢化に伴い労働稼働率での給与計算を行う取り組みが推進され、部長課長など役職に就いてる
 高齢社員のリストラなどが増える/保険負担の増加など



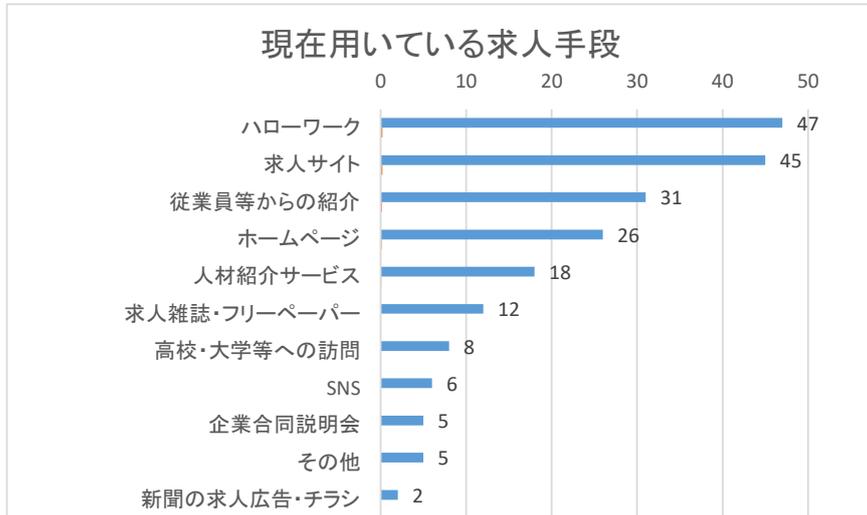
Q3-4人手不足に対して取り組んでいる(取り組もうとしている)ものをお答えください。(複数選択可)

・最も多く挙げられたのは、「中途採用の強化」で、次いで「賃金の引上げ」だった。
 ・「その他」としては、以下の意見が寄せられた。
 外部委託/各問題にかかわらず、職員採用の強化に取り組んでいる/IT技術の活用による自動化を
 推進し作業効率を底上げしているなど
 ・「特に何もしていない」が約25%であった。



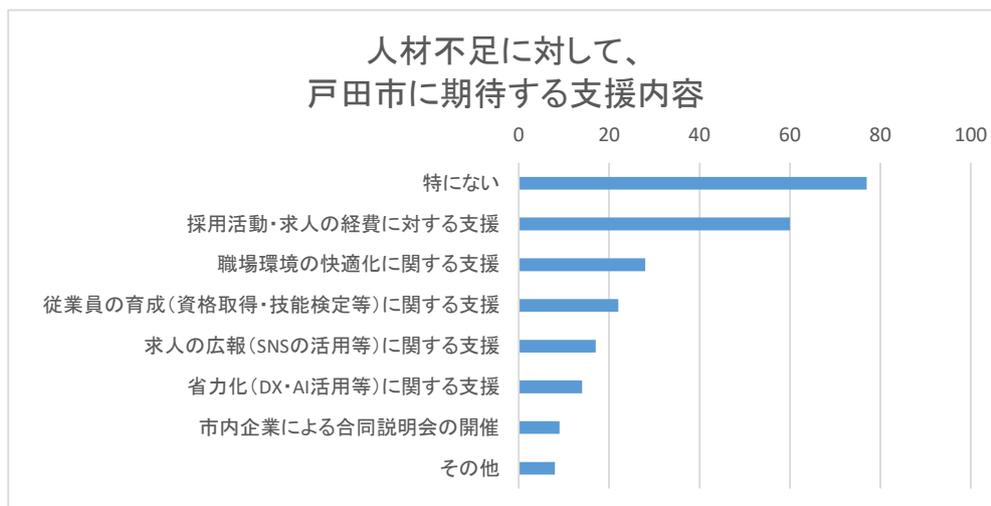
Q3-5現在どのような手段を用いて求人を行っていますか。(複数選択可)

・取組みを実施している事業者のうち、最も多く挙げられたのは、「ハローワーク」で、次いで「求人サイト」だった。
 ・「その他」としては、以下の意見が寄せられた。
 知人の紹介/各問題にかかわらず、ハローワーク、求人サイト、ホームページや広報誌、大学等への周知依頼を行っている/外国人実習生、特定技能生/知人からの紹介など
 ・「特に何もしていない」が約30%であった。



Q3-6人材不足に対して、戸田市に期待する支援内容についてお答えください。(複数選択可)

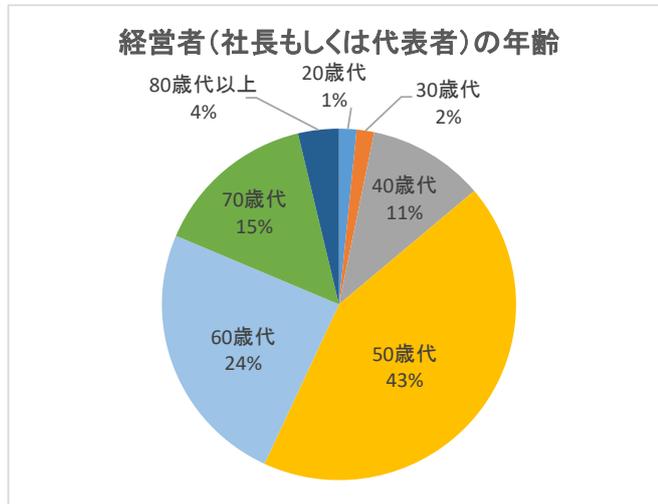
・「特にない」が最も多かった。
 ・次いで多かったのは「採用活動・求人の経費に対する支援」
 ・「その他」としては、以下の意見が寄せられた。
 設備投資補助金/情報提供(支援策や事例紹介)/中小企業(毎年の採用が難しい会社)と学校(高校・専門学校含む)との接点を作って欲しいなど



4. 事業承継について

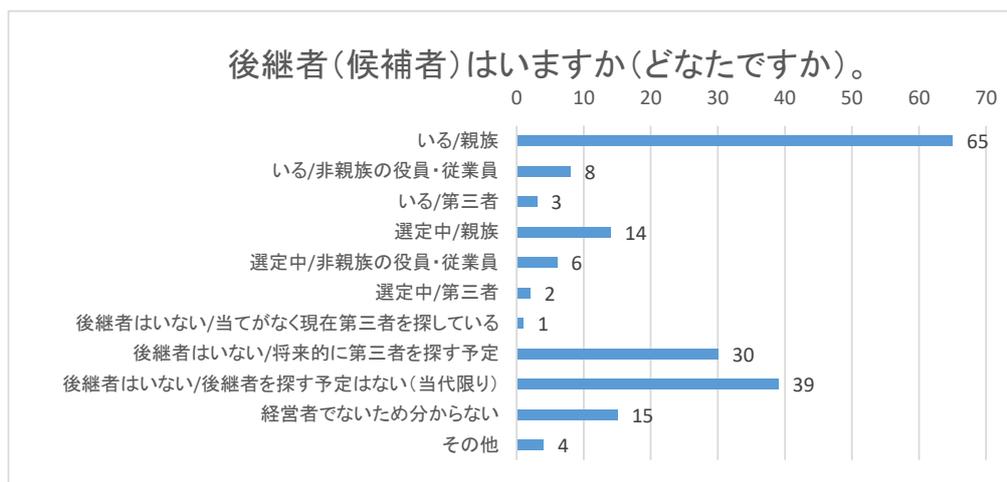
Q4-1 貴社の経営者(社長もしくは代表者)の年齢についてお答えください。

- ・最も多く挙げられたのは「50歳代」であった。
- ・次いで多かったのは「60歳代」、「70歳代」であった。



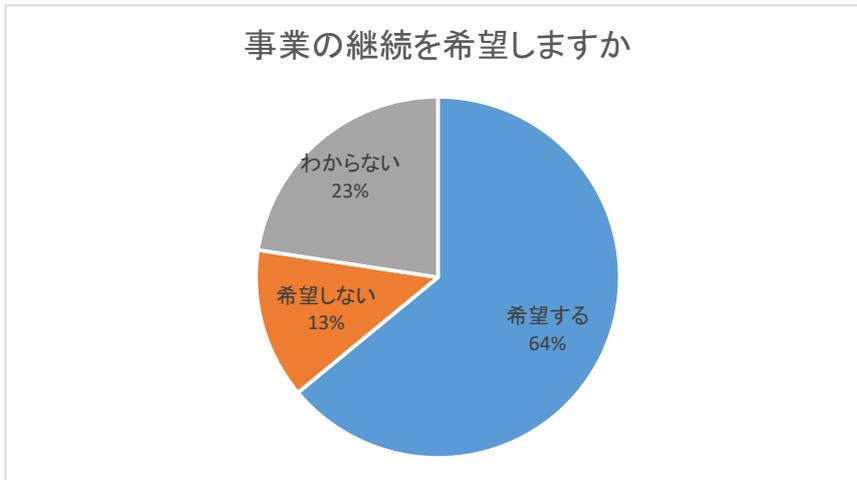
Q4-2 後継者(候補者)はいますか(どなたですか)。

- ・「候補者がいる/親族」と回答したのが65社で最も多かった。
 - ・一方で、「後継者はいない/後継者を探す予定はない(当代限り)」、「後継者はいない/将来的に第三者を探す予定」が二番目、三番目に多かった。
 - ・当代限りで廃業予定と思われる「後継者はいない/後継者を探す予定はない(当代限り)」の割合は、全体の20.8%となった。
 - ・「その他」としては、以下の意見が寄せられた。
未定/現時点では未定だが、非親族の役員・従業員から選出予定/中核事業は継承済み
- ※選定中・・・候補者含め概ね決まっている



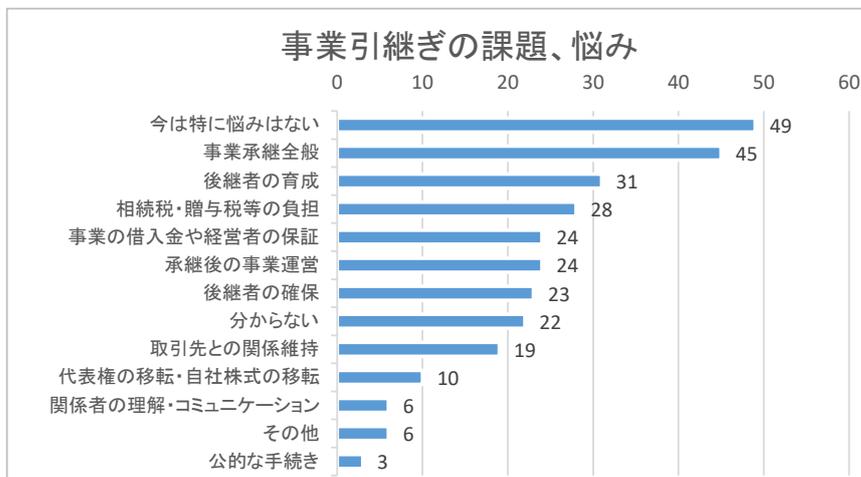
Q4-3 事業の継続を希望しますか。

- ・全体の約6割以上が事業の継続を希望している。
- ・次いで多かったのは、「わからない」であった。



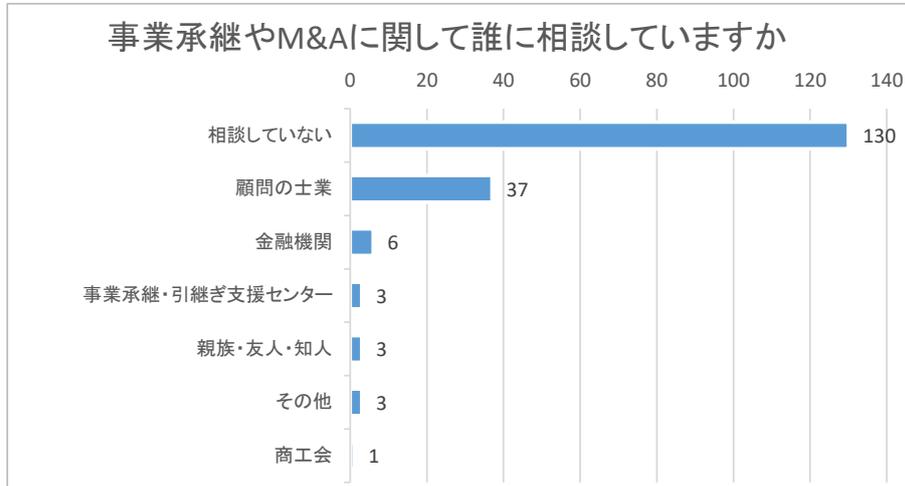
Q4-4 事業の引継ぎで課題と思われること、悩んでいることをお答えください。(複数選択可)

- ・最も多く挙げられたのは「今は特に悩みはない」、次いで多かったのは、「事業承継全般」であり、前回調査と同じ結果であった。
- ・「その他」としては、以下の意見が寄せられた。
スタッフ等の人材確保/デジタル化によるアナログの需要低下/社員の増加など



Q4-5 事業承継やM&Aに関して誰に相談していますか。(複数選択可)

・最も多く挙げられたのは「相談していない」であり、全体の約7割を占めている。
・次いで多かったのは、「顧問の士業」であった。
・「その他」としては、以下の意見が寄せられた。
本部社員/同業他社など



戸田市景気動向に関するアンケート調査結果(2024年7月)
令和6年9月5日発行 戸田市 環境経済部 経済戦略室

実施・編集・発行 : 戸田市 環境経済部 経済戦略室
048-441-1800(内線374)